



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ベリサーブ

コード番号 3724 URL <http://www.veriserve.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 浅井 清孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員

(氏名) 高橋 豊

TEL 03-5909-5700

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,123	△2.7	183	△3.3	182	△15.0	80	△20.8
24年3月期第3四半期	4,237	—	190	—	214	—	101	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 89百万円 (△12.0%) 24年3月期第3四半期 101百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	3,091.85	—
24年3月期第3四半期	3,902.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,335	4,645	87.1
24年3月期	5,306	4,621	87.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 4,645百万円 24年3月期 4,621百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	1,000.00	—	1,500.00	2,500.00
25年3月期	—	1,000.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	2,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	13.2	400	62.3	400	49.7	180	403.2	6,900.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	26,084 株	24年3月期	26,084 株
25年3月期3Q	0 株	24年3月期	0 株
25年3月期3Q	26,084 株	24年3月期3Q	26,084 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提条件その他の関連する事項につきましては、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) セグメント情報等	7
(7) 重要な後発事象	7
5. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などを背景に緩やかな回復基調が見られたものの、依然として欧州の金融不安に加え、米国の財政問題や新興国の景気停滞など、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境といたしましては、主要顧客である製造業においては、東アジア情勢の緊張、長引く円高等の影響により輸出が伸び悩むなど厳しい状況が続きました。こうした状況に対応し、製造業では経営効率の向上を図るために、コスト削減に向けた取り組みを一段と強化しており、当社グループにとっても厳しい影響を受けております。

このような環境の中、当社グループでは売上高の拡大に注力し、主力サービスである組込み関連の検証事業に加え、新たな事業の創出に努めてまいりました。

検証対象製品を分野別に見てみますと、AV関連機器においては前年同四半期並みの水準となりましたが、次期モデルへの端境期となっているカーナビゲーション・システムをはじめとしたITS関連分野やモバイル通信分野については依然として厳しい状況が続いております。他方、システムの脆弱性等の検証を行うセキュリティ関連分野については、売上高が順調に推移しており、このような分野では受注高、受注残高ともに前年同四半期に比べ増加いたしました。

一方、販売費及び一般管理費につきましては引き続き遜減に努めたことにより、前年同四半期に比べ5.3%減少いたしました。

以上のような結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,123,636千円（前年同四半期比2.7%減、114,180千円減）、営業利益は183,854千円（前年同四半期比3.3%減、6,227千円減）、経常利益は182,438千円（前年同四半期比15.0%減、32,238千円減）、四半期純利益は80,647千円（前年同四半期比20.8%減、21,157千円減）となりました。

なお、サービス別の業績につきましては、後述の「5. 補足情報（1）生産、受注及び販売の状況」をご参照下さい。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

（資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ97,349千円減少し、4,719,630千円となりました。これは主に現金及び預金、売掛金が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は前連結会計年度末に比べ126,614千円増加し、616,141千円となりました。これは主にソフトウェアや関係会社株式の取得により増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ29,265千円増加し、5,335,772千円となりました。

（負債の部）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ8,739千円減少し、521,844千円となりました。これは主に預り金及び未払費用、買掛金が増加したものの、賞与引当金及び未払金が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ14,115千円増加し、168,222千円となりました。これは主に退職給付引当金が増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ5,375千円増加し、690,067千円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ23,889千円増加し、4,645,704千円となりました。これは主に配当金の支払により減少したものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて59,367千円減少し、3,645,356千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、214,544千円の増加となりました。これは主に法人税等の支払により減少したものの、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上、売上債権の回収等により増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、209,757千円の減少となりました。これは主に無形固定資産や関係会社株式の取得により減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、65,396千円の減少となりました。これは配当金の支払により減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期予想につきましては、引き続き新興国を中心とする景気の停滞が懸念される状況ではありますが、昨年12月に新政権が発足し、高止まりしていた円高が調整されつつあり、日本経済に明るい兆しも見られはじめています。製造業におきましても業績改善が期待される状況にあり、当社グループではこうした状況を踏まえ、現段階においては当初公表どおりの通期業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,704,724	3,645,356
売掛金	946,835	897,479
仕掛品	16,440	37,162
前払費用	38,923	57,522
繰延税金資産	81,383	59,538
その他	28,673	22,571
流動資産合計	4,816,980	4,719,630
固定資産		
有形固定資産	69,283	68,507
無形固定資産	166,773	183,375
投資その他の資産		
投資有価証券	35,000	35,000
関係会社株式	6,448	116,873
繰延税金資産	61,594	66,326
敷金及び保証金	148,433	145,015
その他	1,991	1,042
投資その他の資産合計	253,468	364,257
固定資産合計	489,526	616,141
資産合計	5,306,506	5,335,772
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,948	125,628
未払金	45,257	20,893
未払費用	110,132	133,515
未払法人税等	34,265	26,558
未払消費税等	34,936	35,190
預り金	29,194	55,986
賞与引当金	166,561	120,137
その他	3,287	3,935
流動負債合計	530,583	521,844
固定負債		
退職給付引当金	150,907	165,022
役員退職慰労引当金	3,200	3,200
固定負債合計	154,107	168,222
負債合計	684,691	690,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	792,102	792,102
資本剰余金	775,852	775,852
利益剰余金	3,058,821	3,082,084
株主資本合計	4,626,776	4,650,039
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,960	△4,334
その他の包括利益累計額合計	△4,960	△4,334
純資産合計	4,621,815	4,645,704
負債純資産合計	5,306,506	5,335,772

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,237,816	4,123,636
売上原価	2,983,182	2,931,298
売上総利益	1,254,634	1,192,338
販売費及び一般管理費	1,064,551	1,008,483
営業利益	190,082	183,854
営業外収益		
受取利息	2,128	2,273
助成金収入	26,415	13,082
その他	880	714
営業外収益合計	29,424	16,070
営業外費用		
為替差損	4,829	86
持分法による投資損失	—	17,400
営業外費用合計	4,829	17,486
経常利益	214,676	182,438
税金等調整前四半期純利益	214,676	182,438
法人税、住民税及び事業税	32,528	84,677
法人税等調整額	80,343	17,113
法人税等合計	112,871	101,790
少数株主損益調整前四半期純利益	101,804	80,647
少数株主利益	—	—
四半期純利益	101,804	80,647
少数株主利益	—	—
少数株主損益調整前四半期純利益	101,804	80,647
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△586	625
持分変動差額	—	7,825
その他の包括利益合計	△586	8,451
四半期包括利益	101,217	89,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,217	89,099
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	214,676	182,438
減価償却費	47,118	56,130
引当金の増減額 (△は減少)	△129,178	△32,281
受取利息	△2,128	△2,273
助成金収入	△26,415	△13,082
持分法による投資損益 (△は益)	—	17,400
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,674	49,332
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△78	△20,722
仕入債務の増減額 (△は減少)	△34,624	18,691
前払費用の増減額 (△は増加)	5,899	△18,612
未払費用の増減額 (△は減少)	16,708	23,291
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,378	△839
その他	34,519	28,248
小計	111,442	287,722
利息及び配当金の受取額	2,049	2,298
助成金の受取額	26,415	13,082
法人税等の支払額	△209,091	△88,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	△69,183	214,544
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,659	△10,736
無形固定資産の取得による支出	△47,384	△83,107
関係会社株式の取得による支出	△13,400	△120,000
敷金及び保証金の回収による収入	36,946	4,701
敷金及び保証金の差入による支出	△2,026	△2,303
従業員に対する貸付けによる支出	△1,100	—
従業員に対する貸付金の回収による収入	2,465	1,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,158	△209,757
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△65,410	△65,396
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,410	△65,396
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,357	1,241
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△167,110	△59,367
現金及び現金同等物の期首残高	3,740,104	3,704,724
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	33,304	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,606,299	3,645,356

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社グループは、システム検証事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社グループの提供している事業はシステム検証サービス業でありますので、事業上の特性から生産実績を示すことは困難であるため記載しておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注実績をサービス別に示すと、次のとおりであります。

サービス別	受注高 (千円)	前年同四半期比	受注残高 (千円)	前年同四半期比
		(%)		(%)
開発支援検証サービス	3,676,323	△0.4	657,448	△8.4
認定支援サービス	10,524	△49.8	—	—
検証情報サービス	38,396	△59.9	14,318	63.1
製品検証サービス計	3,725,243	△2.2	671,766	△7.9
セキュリティ検証サービス	78,361	10.5	9,050	33.9
その他のサービス	97,083	35.2	16,629	108.9
合計	3,900,688	△1.3	697,446	△6.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をサービス別に示すと、次のとおりであります。

サービス別	販売高 (千円)	前年同四半期比
		(%)
開発支援検証サービス	3,892,225	△1.8
認定支援サービス	10,524	△43.0
検証情報サービス	51,292	△52.0
製品検証サービス計	3,954,041	△3.3
セキュリティ検証サービス	82,181	20.1
その他のサービス	87,413	7.4
合計	4,123,636	△2.7

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(注) 2. 前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
株式会社デンソー	791,642	18.7	570,753	13.8
ソニー株式会社	440,874	10.4	544,468	13.2
パイオニア株式会社	555,298	13.1	476,182	11.5